

登録証の例1 (登録組織名及び登録範囲が明記されたもの)

**審査登録機関のマーク**

**認定機関のマーク**

品質マネジメントシステムに関する  
国際認定機関フォーラム (IAF)  
多国間相互承認協定 (MLA) メンバー  
により認定されています。

**JAB**  
QS Accreditation  
R023

**添付書類①**

## 登録証

組織  
**OO 建設株式会社**  
本店  
所在地  
東京都中央区日本橋1丁目1番1号

**添付書類④に相当**

貴組織は、**MSA**の品質システム審査登録制度に基づき審査した結果、  
下記の内容について登録されたことを証明します。

登録された品質システム  
土木構造物及び建築物の設計、施工並びに付帯

登録範囲に含まれる関連組織  
名称：京橋支店 (土木設計本部、機械部)  
所在地：東京都中央区京橋1丁目17番7号

適用規格  
**JIS Q 9001:2000 (ISO 9001:2000)**

登録番号 **MSA-QS-2000**  
発行日：2000年10月17日 変更日：2001年1月15日 有効期限：2003年10月16日

東京都中央区日本橋1丁目17番7号 第二丸善ビル  
**MSA** 株式会社 マネジメントシステム評価センター

代表取締役社長  
上級経営管理者 **吉野 弘泰**

**要チェック**


認証登録範囲が示されている工事の内容に一致しているかを確認する。  
他の記載例として製造、設計、据付け等がある

同じ会社で部署単位の組織毎に認証取得をしている場合に記載される(記載のない場合は関連部署がない)

ISO9001かどうかチェック

審査登録機関

登録証の例2(登録組織名及び登録範囲が明記されたもの)



審査登録機関のマーク

添付書類①

# 登録証

登録番号

登録日 年 月 日  
再発行日 年 月 日  
有効期限 年 月 日

添付書類③に相当

要チェック

株式会社  
 事業部  
東京都

貴社(事業所)は、当社の品質システム審査登録業務による審査の結果  
JIS Z 9901:1998/ISO 9001:1994  
に適合していることを証します。

添付書類④に相当

ISO9001かどうかチェック

登録範囲：  
鋼製橋梁及び景観製品の設計、開発、製造、据付け及び付帯サービス  
登録範囲の関連事業所：  
標記登録番号を付した付属書に記載


認定機関のマーク

審査登録機関

日本検査サービス株式会社  
代表取締役社長 藤 晟

RvA 86-93  
JAB QIS Accreditation R002

認証登録範囲が示されている工事の内容に一致しているかを確認する。他の記載例として製造、土木構造物の設計、施工等がある



審査報告書

第X回〇〇審査

1. 目的

本定期審査の目的は、株式会社 〇〇建設（以下、登録組織という）の品質マネジメントシステムが継続して実行されていることを検証すること、事業の変更の結果に起因するそのシステムへの変更の必要性を検証すること、審査登録の要求事項に引き続き適合していることを確認することである。

初回、定期、更新等の審査種別  
によって記述が変わる

2. 審査チーム

チームリーダー：□□ □□ (JRCA 登録主任審査員：登録番号 A00000)  
審査員：△△ △△ (JRCA 登録主任審査員：登録番号 A00001)

3. 品質マネジメントシステムの概要

登記上の名称、所在地を表示する

3.1 登録組織名：株式会社 〇〇建設

所在地：東京都千代田区〇〇町1丁目1番1号

登録範囲に含まれる組織：

3.2 登録番号：MSA-QS-3000

登録証に記載されている「登録された品質システム」又は、「登録範囲」と同一

3.3 登録範囲及び認定範囲

登録範囲：土木構造物の施工並びに建築物の設計及び施工並びに付帯サービス

認定範囲：28 建設

設計專業の場合、「34 建築エンジニアリング業、関連技術コンサルタント」が認定範囲として記載され

チェック

認定範囲は、JAB R 300-2002 付属書 1-認定範囲 による。

3.4 審査部署及び対象人数

審査部署：今回の審査対象部署は、「実地審査計画書（第X回〇〇審査）」及び「審査項目・部署割当表（第X回〇〇審査）」に示す。  
作業所審査における工事名と所在地を下記に示す。

工事名：

所在地：

対象人数：XXX 人

3.5 品質マネジメントシステムの適用規格

適用規格：JIS Q 9001:2000(ISO 9001:2000)

#### 4. 審査計画

この定期審査は以下の計画に従って実施した。

##### 4.1 審査工数

この定期審査は、JAB R 300-2002 付属書 2-審査工数表 に準拠して計画した。その計画を「実地審査計画書（第X回〇〇審査）」別紙-1に示す。

4.2 審査年月日：XXXX年XX月XX日

#### 5. 審査結果

##### 5.1 審査に使用した品質マニュアル

文書番号：XXXXXXXX

版数：XX版

日付：XXXX年XX月XX日

5.2 上記の 4. の審査計画に従って〇〇審査を実施した。実地審査時の出席者は「会議出席者リスト（第X回〇〇審査）」別紙-3の通りである。

##### 5.3 品質マネジメントシステムの維持

1) 内部監査

2) マネジメントレビュー

3) 是正処置

4) 予防処置

5) その他

##### 5.4 システムの変更

##### 5.5 苦情と再発防止対策

##### 5.6 登録マーク、認定マーク及び登録証の使用方法

##### 5.7 前回の審査での指摘事項に対する是正処置実施状況の確認

##### 5.8 品質マネジメントシステムの有効性（所感に書いてもよい）

##### 5.9 システムの欠陥を管理者に知らせる手順

5.10 システムの性能の継続的改善課題の進捗状況（所感に書いてもよい）

6. 今回の審査で指摘した不適合とその是正

重大な不適合（X）	—〇件
軽微な不適合（Y）	—〇件
修正を要求する不適合	—〇件

7. 審査チームの結論

8. 所感

9. 判定委員会への報告

品質審査部長は、審査チームからの規格要求事項に適合している旨の報告を妥当であると判断し、MSAの判定委員会に報告する。

10. 添付資料

別紙-1： 実地審査計画書（第XX回〇〇審査）

別紙-2： 審査項目・部署割当表（第XX回〇〇審査）

別紙-3： 会議出席者リスト（第XX回〇〇審査）

別紙-4： 実地審査記録書（第XX回〇〇審査）

=本報告書配布先リスト=

1. 〇〇〇〇〇

以上

## <参考例>

## 例示 ③

MSA/2005.02.21-1998040

登録番号：MSA-QS-XXX

〇〇建設株式会社

土木本部

企画・品質管理室 室長

管理責任者      △△ △△ 様

認証を取得している  
組織(企業)  
申請者=請負者

添付書類②のうちの  
合否判定結果

審査登録機関

MSA 株式会社マネジメントシステム  
評価センター  
登録部長    □□□□

判定結果通知書

貴組織が登録を申請されていた品質マネジメントシステムについて、判定結果を下記の如く通知いたします。

記

1 判定      登録を更新する

「更新する」又は「登録する」(初回の場合)と記載されている

2 適用規格      JIS Q 9001:2000(ISO 9001:2000)

3 登録された品質マネジメントシステム  
土木構造物の施工及び付帯サービス

4 組織      名称      〇〇建設株式会社  
所在地      東京都千代田区〇〇町1丁目1番1号

5 登録番号      MSA-QS-XXX

6 有効期間      登録日      1999年3月18日  
有効期限      2008年3月17日  
更新日      2005年2月21日

要チェック

以上